

奈良県の経済動向の概要(令和3年4月)

別紙

統計分析課

奈良県の主要経済指標の動き(対前年同月比)

指標名	消費		生産	投資
	百貨店・スーパー 販売額【全店】	新車販売台数	鉱工業生産指数	新設住宅着工戸数
12月				
1月				
2月				
3月				
最新月の動き	▲1.6% 3か月連続の減少	2.1% 6か月連続の増加	▲5.7%【前月比】 2か月連続の低下	31.7% 4か月ぶりの増加

指標名	投資	金融	雇用	
	建築着工床面積	国内銀行貸出残高	有効求人倍率 【就業地別】	新規求人倍率 【就業地別】
12月				
1月				
2月				
最新月の動き	3か月後方移動平均 4か月ぶりの減少	5.6% 11か月連続の増加	0.02ポイント【前月比】 2か月連続の増加	▲0.13ポイント【前月比】 2か月ぶりの減少

※生産・雇用は前月比

	上昇		横ばい		低下
--	----	--	-----	--	----

(参考)各機関の景気基調判断(総括)

	前回公表分	最新公表分
奈良財務事務所 「奈良県内経済情勢報告」	県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、一部で持ち直しの動きがみられる。 【10月公表分】	県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある。 【1月公表分】
内閣府 「地域経済動向」【近畿】	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。なお、ヒアリングによれば、足下の感染者数増加による下振れ懸念が一部の業種で強まっている。 【12月公表分】	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。 【3月公表分】
近畿経済産業局 「管内経済動向」	厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる。【3月公表分】	厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる。【4月公表分】
日本銀行大阪支店 「関西金融経済動向」	関西の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状態にあるが、全体としては持ち直し基調にある。 【2月公表分】	関西の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状態にあるが、全体として持ち直している。もともと、まん延防止等重点措置が実施されるも、サービス消費への下押し圧力は強い状態にある。 【4月公表分】
内閣府 「月例経済報告」【全国】	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。【3月公表分】	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。【4月公表分】